

事業実績書

団体名	鑄銭司自治会 (鑄銭司まちづくり協議会)
-----	-------------------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

「みんなでつくろう 明るい鑄銭司」の地域づくり計画の目標に沿い、共助の精神に溢れた地域づくりの推進。

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	単位自治会の活性化を図り、地域住民を中心とした支え合える地域づくりの実現。		
	事業名	地域連携・交流事業	決算額	486,363円
②	視点	地域コミュニティ強化による「自助・共助・公助」による住み良い地域づくりを目指す。		
	事業名	教育・福祉関係事業	決算額	113,767円
③	視点	郷土の偉人大村益次郎の没後150年事業を核として、鑄銭司の魅力を全国に発信していく。		
	事業名	大村益次郎没後150年記念事業	決算額	366,060円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①地域内の活性化を目的とした地域行事への支援、単位自治会長情報交換会や新年互例会を開催し、情報の共有化、また、地区内の企業と住民が交流を深める活動をおこなった。来年度以降も行事への支援及び実施を積極的に取り組んでいく。	○
②回覧板声掛け運動を自治会通信等で発信し、高齢者等への見守り体制づくりが定着してきた。人材バンクや子育てサポートシステムの構築を模索したが結果には結びつかず次年度以降の課題となった。	△
③大村益次郎没後150年記念事業実行委員会による伝記本の制作を記念した講演会や咸宜園開塾200年記念事業に参加し、事業を展開した。29年度も鑄銭司の魅力を全国に発信する活動を推進していく。	○

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

第2次地域づくり5カ年計画の2年目であり、第1次計画からの継続事業については順調に実施することができた。新規事業においては、環境づくりとして、「笑顔いっぱい、花いっぱい、明るい鑄銭司」をキャッチフレーズに環境美化活動に取り組み計画通りに実施出来た。地域福祉分野では障害のある方を支援する「あいサポーター養成研修会」を開催し、自発的な行動につなげていく取組ができた。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	3, 922, 981円
事務局の運営体制	<p>(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務員3名</p> <p>(運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費</p> <p>(成果・評価) 9月末に事務局長が退職したが、新規採用者含む事務局員3名で業務にあたることで着実に事務局運営を行うことができた。</p> <p>(今後に向けて) 業務量が年々増加しており、事務局業務の効率化、簡素化に取り組む必要がある。</p>

(2) 地域振興

事業名	地域情報発信事業
事業費	210, 040円
事業概要	<p>(実施内容) ①広報誌発行 ②ホームページの立ち上げ。</p> <p>(実施時期) ①通年 ②12月</p> <p>(参加人数) ①850世帯・企業50社</p> <p>(成果) ①自治会通信11回発行・自治会報(総会報告書)1回発行 ②ホームページの立ち上げ済み。</p> <p>(評価) 広報誌やホームページを活用して、地域づくりに関する活動について地区民に周知が図れ、関心を持ってもらえるようになった。</p> <p>(今後に向けて) 分かりやすく、読んでもらえる広報誌作成のための情報収集や勉強会等にも積極的に参加する。</p>

事業名	地域振興・交流事業
事業費	486, 363円
事業概要	<p>(実施内容) ①ふるさとまつり等の各種行事支援 ②単位自治会長情報交換会 ③地域内の企業と地域住民の交流</p> <p>(実施時期) ①11月 ②8月 ③1月</p> <p>(参加人数) ①800人 ②26人 ③72人</p> <p>(成果) ①地区最大のイベントである、ふるさとまつりを開催し、地区民相互の交流が図れた。また、祭りの中で地域功労者7名を表彰した。中山間事業の一環として県大生による益次郎豆腐を使った料理をふるまった。 ②避難勧告が発令された際、各単位自治会における対応や日々の防災活動について意見交換を行った。個々の自治会において取り組み内容に差があったが、良くできている自治会を参考にしようという意気込みが感じられた。 ③新年互例会を開催し、渡辺市長にも参加を頂き、大いに盛り上がるとともに地域内の企業と地域住民の交流が図れた。</p> <p>(評価) ①まつりで功労者の方々を広く紹介することができた。また、県大生による益次郎豆腐を使った料理を振舞い若者と地域住民の交流の場を設けることができた。 ②自主防災組織が作れていない単位自治会に、防災組織や緊急連絡網及び要支援者をどう避難させようかという動きが出てきて良かった。 ③地域内企業と地域住民との交流事業を継続することで、地域づくり活動への理解と協力が得やすくなる。</p> <p>(今後に向けて) ①地域づくりに貢献された方の表彰を続けていく。 ②単位自治会の連帯強化の為、単位自治会長情報交換会を継続する。 ③地域内企業と地域住民との交流事業を継続と参加企業の拡大を図る。</p>

(3) 地域福祉

事業名	教育・福祉関係事業
事業費	113,767円
事業概要	<p>(実施内容)①高齢者の集いや、福祉事業に対する支援。 ②子育て支援(学び教室等)の実現に向けたシステムづくり。</p> <p>(実施時期)①通年 ②通年</p> <p>(参加人数)【①60人 ②300人】</p> <p>(成果)①あいさポーター養成研修会を開催し、パラリンピックの正式種目であるボッチャを体験した。 ②子育てに関わる幅広い年齢層の参加者があり、就学前の子育てのポイントを事例を踏まえて学んだ。</p> <p>(評価)①障害のある人を優しく支え、自分の意志で行動することを学べた。 ②自分の子育てを見直すことが出来たと好評であった。</p> <p>(今後に向けて)①継続実施しながら更に内容を充実させていく。 ②子育てに関わる関係団体との連携を強め、子どもの健全な育成に関する活動を推進する。</p>

事業名	健康づくり事業
事業費	13,600円
事業概要	<p>(実施内容)①健康づくり関連事業を実施します。 ②ウォーキングイベント等の実施。健康に関する行事を推進します。</p> <p>(実施時期)①通年 ②3月</p> <p>(参加人数)① 237人 ②37人</p> <p>(成果)①ラジオ体操支援、古地図散歩、生活習慣病予防講座実施。 ②生活習慣病予防講座等でのウォーキング実施。</p> <p>(評価)①古地図散歩は史跡を訪ねながら同時にウォーキングもできる利点がある。生活習慣病予防講座では正しい歩き方のためのストレッチや、下肢の筋力強化などの体験学習ができた。 ②講師と共に歩き方の指導を受けながら、実践歩行が体験できた。</p> <p>(今後に向けて)①意識して歩くことを定着させるため、ウォーキングイベントを企画していきます。 ②講師による専門的な指導により、健康につながる下肢のストレッチやウォーキングが非常に参考になった。健康づくり活動が定着するよう継続実施する。</p>

(4)安心・安全

事業名	防犯対策推進事業
事業費	221, 578円
事業概要	(実施内容)防犯灯や防犯啓発看板の設置等、安全な地域環境づくり。 (実施時期)通年 (成果)幼稚園付近、高速道路高架下に防犯啓発看板を2箇所新設。 (評価)①防犯灯、防犯啓発看板の新設事業を継続的に進めてきた結果、地区内に安心・安全な生活環境が整ってきた。 (今後に向けて)引き続き防犯灯及び防犯啓発看板を設置し、地域をあげて防犯意識の高揚を図っていく。

事業名	防災活動推進事業
事業費	109, 452円
事業概要	(実施内容)自然災害を踏まえた防災訓練を実施。 (実施時期)①12月 ②3月 (参加人数)①37人 ②108人 (成果)各単位自治会の緊急連絡網による情報伝達訓練。要支援者に対する避難支援の確認や炊き出し訓練。防災講演会等を実施。 (評価)実際に避難訓練を体験することで、避難経路や危険個所の把握、緊急持ち出し品の確認ができ、これまで以上に防災意識が高まった。 (今後に向けて)現在3地区で実施済み。今後2年間で5地区すべてで実施する。また、実際の災害に対応できるよう、訓練の精度を上げていく。

事業名	交通安全推進事業
事業費	18, 432円
事業概要	(実施内容)秋の全国交通安全運動にあわせて、警察、中学校と連携して、長沢ガーデン駐車場内において、ドライバーに手作りの交通安全マスコットを配布し、交通安全啓発活動を実施。また、地域内運送会社6社に対しても同様に行った。 (実施時期)9月 (参加人数)130人 (成果)個人および地域のサークルの協力により製作した、約340個の交通安全マスコットを配布し交通事故防止に向けた取り組みを行った。 (評価)地域内を走行するドライバーや地域内の運送会社に交通安全マスコットを手渡すことで交通安全の啓発が図れた。 (今後に向けて)交通事故防止のため、地域一体となって交通安全活動に取り組む。

(5)環境づくり

事業名	土木工事(法定外公共物)
事業費	3,944,000円
事業概要	(実施内容)単位自治会からの要望申請で道路補修工事及び水路工事等に対応。 (実施時期)通年 (成果)生活道路の舗装5件、農業用水路の改修3件 (評価)生活道路の改良及び老朽化した水路の改修が実施できた。 (今後に向けて)地域内の要望を把握し、随時対応していく。

事業名	環境整備事業
事業費	1,169,098円
事業概要	(実施内容)①一戸一鉢運動 ②長沢池周辺の整備 ③陶ヶ岳やぶ椿整備 ④環境に対する意識向上を図る環境学習会 (実施時期)①7月 ②3月 ③12 ④7月 (参加人数)①880戸 ②150人 ③43人 ④33人 (成果)①花の苗8000株を各戸に配布した。 ②芝桜の補殖、大内桜の看板設置、松島の整備を実施した。 ③陶ヶ岳中腹に自生する藪椿を保護するため、周辺整備を実施した。 ④市環境部職員を講師に招き、ごみの分別方法やエコドライブのすすめについて学んだ。 (評価)①地域で同じ花を育てることにより、近隣との交流が深まった。 ②環境美化活動を通して三世代交流が図れた。 ③藪椿の美しい群生林を保護し、登山客の目を楽しませる陶ヶ岳となった。 ④少しの心がけと実践で環境とお財布にやさしい生活を目指せることを学んだ。 (今後に向けて) 鑄銭司地域を訪れる人々が「きれいで花を愛する地域」として感じてもらえるよう、地域交流を図りながら、美化活動・花のある地域づくりを継続する。

(6) 地域個性創出

事業名	地域資源PR事業
事業費	334, 635円
事業概要	<p>(実施内容) 年間の地域行事カレンダーを作成 (実施時期) 5月～10月(写真の公募) 12月～3月(写真の選考・レイアウトの構成) 3月(配布)</p> <p>(参加人数) 880戸</p> <p>(成果) 地域行事の予定を記載したカレンダーを840世帯、53事業所、14施設に配布。</p> <p>(評価) 地域行事の写真を公募し、新年度の行事予定を記載したカレンダーを全戸に配布し、地域行事や活動を周知した。</p> <p>(今後に向けて) 地域の主な行事が確認できるカレンダーとなり、行事や地域活動に参加する人の拡大につなげていく。</p>

事業名	伝統文化の継承
事業費	195, 370円
事業概要	<p>(実施内容) ①風鎮祭「盆踊りの夕べ」の開催 ②笠踊り伝承保存会支援 (実施時期) ①8月 ②6月～11月 (参加人数) ①300人 ②200人</p> <p>(成果) ①地域団体の協力により多くの参加者があり、地域内の交流が図れた。 ②鑄銭司のみに伝わる「笠踊り」を単位自治会のお祭りや小学校運動会において披露し、伝承活動に取り組んだ。</p> <p>(評価) ①盆踊りを通じて世代間の交流が生まれ、若年層に対しては地域づくり活動を理解してもらいきっかけとなった。 ②鑄銭司小学校で練習会を開催するなど、伝承活動を着実に実施した。</p> <p>(今後に向けて) 笠踊りに接する機会を増やし、盆踊り等のコミュニケーションの場を通じて、地域の貴重な伝統文化の継承を図る。</p>

(7) 特別事業

事業名	大村益次郎没後150年事業
事業費	366, 060円
事業概要	<p>(実施内容) ①「大村益次郎」をテーマとした講演会や咸宜園開塾200年記念事業に参加。</p> <p>(実施時期) ①12月～2月 (参加人数) ①68人</p> <p>(成果) 郷土の偉人「大村益次郎」の功績を顕彰することができた。</p> <p>(評価) 平成30年には大村益次郎没後150年を迎えることについて地域内外に告知することができた。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き、大村益次郎の功績やゆかりの地や活用した地域づくりに取り組んでいく。</p>